



平成26年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月25日

上場会社名 ダイードリンク株式会社
 コード番号 2590 URL <http://www.dydo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成25年12月3日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 高松 富博
 (氏名) 八尾 雅幸

上場取引所 東
 TEL 06-6222-2641

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年1月期第3四半期の連結業績(平成25年1月21日～平成25年10月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第3四半期	118,826	4.8	5,116	△26.1	5,142	△24.5	3,242	△16.8
25年1月期第3四半期	113,428	0.5	6,918	6.0	6,813	18.0	3,898	95.2

(注) 包括利益 26年1月期第3四半期 3,850百万円 (△5.5%) 25年1月期第3四半期 4,076百万円 (85.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年1月期第3四半期	195.73	—
25年1月期第3四半期	235.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年1月期第3四半期	153,059	81,735	52.2
25年1月期	140,487	79,097	55.1

(参考) 自己資本 26年1月期第3四半期 79,945百万円 25年1月期 77,370百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年1月期	—	20.00	—	40.00	60.00
26年1月期	—	30.00	—	—	—
26年1月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年1月期の連結業績予想(平成25年1月21日～平成26年1月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	153,000	2.8	6,000	△24.4	5,800	△24.9	3,300	△25.2	199.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、【添付資料】3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年1月期3Q	16,568,500 株	25年1月期	16,568,500 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年1月期3Q	1,626 株	25年1月期	1,553 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年1月期3Q	16,566,926 株	25年1月期3Q	16,566,947 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策や金融政策への期待感から円高の是正や株価の上昇など景気回復の兆しが見られたものの、海外経済の下振れによる影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

飲料業界におきましても、個人消費の一部に持ち直しの動きは見られるものの、節約志向は依然継続しており、さらに低価格化が進行するなど販売競争が益々激化する厳しい状況が続いております。

こうした中、当社グループは自販機事業の維持・拡大並びに流通事業の強化・拡充を図りつつ、コーヒー飲料を主軸として各チャネルに即したマーケティング戦略を展開し、ブランドを一層強化させることで、更なる収益力強化に注力してまいりました。

また、営業効率の改善に向けあらゆる業務の見直しを実施するなど、引き続き徹底したコストコントロールを行い、利益確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、118,826百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益5,116百万円（前年同期比26.1%減）、経常利益5,142百万円（前年同期比24.5%減）、四半期純利益3,242百万円（前年同期比16.8%減）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

①飲料販売部門

商品面では、理想の微糖を追求した「ダイドーブレンド 飲みごたえ微糖」を発売したことに加え、「デミタス」シリーズを「ダイドーブレンド」におけるプレミアムシリーズとして再定義し、小さい缶に贅沢な美味しさのつまった“ご褒美缶コーヒー”というコンセプトのもと、「ダイドーブレンド デミタス」シリーズとしてリニューアルするなど、「ダイドーブレンド」ブランドの更なる強化、幅広いユーザーの囲い込みとシェアの維持拡大に注力しました。

自販機の導入につきましては、消費者に支持される注目度の高い新しい自販機の積極投入と、不採算先自販機の撤去やスクラップ&ビルドという投資効果に主眼を置いた設置ロケーションの選定を行い、採算性を一層重視した強固な全自販機の見直しに注力しました。

また、導入する自販機につきましては、「ヒートポンプ自販機」、「LED照明自販機」など地球環境に優しい節電効果の高い「エコ自販機」の徹底した開発・採択に努めました。また災害時における迅速で有効な支援ツールとなる「災害救援自販機」や、収益金の一部を募金として寄付する「緑の募金自販機」、「盲導犬育成募金自販機」、「ギャラクシー募金自販機」等の「社会貢献型自販機」を投入するなど、地域社会や消費者に支持される新しい自販機の積極投入を行いました。

以上の結果、飲料販売部門の売上高は99,036百万円（前年同期比1.8%減）となりました。

②飲料受託製造部門

近年、消費者ニーズはドリンク剤から健康食品やサプリメント（健康補助食品）への流れに変わり、ドリンク剤と競合する商品が数多く発売されるようになりました。そうしたニーズをいち早く掴み、従来のドリンク剤のノウハウを礎として、「美容と健康」を謳った女性向け商品を開発する体制をつくり上げたことから、多方面にわたり受注を獲得することができるようになりました。

しかし、最近のドリンク市場は減少傾向にあり、ここ数年ドリンク市場を牽引してきた機能性・美容系ドリンクも飽和状態になりつつあるなど厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中、営業開発体制の強化並びに生産体制の整備に努め、受注拡大のため、大手医薬品等有力メーカーに向けて、積極的に提案営業を展開いたしました。

以上の結果、飲料受託製造部門の売上高は7,831百万円（前年同期比5.2%減）となりました。

③食品製造販売部門

ドライフルーツゼリー市場においてトップシェアを有する株式会社たらみの発行する全ての株式を取得し、連結子会社としたことに伴い、前第2四半期連結会計期間より新たなセグメントといたしました。ダイドードリンクが新商品として発売した、とろ〜り“おとなの”贅沢食感ゼリー飲料「甘いひととき 白桃ジュレ」、「甘いひととき 白ぶどうジュレ」の共同開発を行うなど、第3の柱となる新分野の事業を獲得したことで、将来の持続的成長を実現できる新たなビジネスチャンスの創出を図り、当社グループの更なる企業価値向上に注力いたしました。

以上の結果、食品製造販売部門の売上高は11,958百万円（前年同期比174.8%増）となりました。

なお、前期は第3四半期連結会計期間より損益計算書を連結しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、有価証券や売上債権の増加などにより、前連結会計年度末と比較して12,571百万円増加し、153,059百万円となりました。

負債は、長期借入金の増加などにより、前連結会計年度末と比較して9,933百万円増加し、71,324百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末と比較して2,638百万円増加し、81,735百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期連結累計期間の実績は、低価格化が進行するなど企業間競争は益々厳しさを増し、当社グループにとっても大変厳しい経営環境が継続しました。そうした中、当社グループは「ダイドーブレンド」ブランドの強化に努め、コーヒー飲料の拡販に注力してまいりましたが、その他の飲料の落ち込みをカバーすることが出来ず、当初計画を下回る見込みとなりました。

つきましては、当第3四半期連結累計期間の業績等を踏まえ、平成25年2月25日に公表いたしました平成26年1月期の通期の業績予想を下記の通り修正いたします。

平成26年1月期連結業績予想数値の修正（平成25年1月21日～平成26年1月20日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 159,300	百万円 8,000	百万円 7,750	百万円 4,410	円 銭 266.22
今回修正予想（B）	153,000	6,000	5,800	3,300	199.19
増減額（B－A）	△6,300	△2,000	△1,950	△1,110	—
増減率（％）	△4.0%	△25.0%	△25.2%	△25.2%	—
（参考）前期連結実績 （平成25年1月期）	148,902	7,934	7,725	4,410	266.22

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月21日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年1月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年10月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,135	36,121
受取手形及び売掛金	14,505	17,171
有価証券	14,263	23,978
商品及び製品	5,309	5,928
仕掛品	10	14
原材料及び貯蔵品	1,281	1,443
その他	2,256	2,037
貸倒引当金	△12	△14
流動資産合計	70,750	86,680
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品（純額）	11,680	16,822
その他（純額）	20,376	17,999
有形固定資産合計	32,056	34,822
無形固定資産		
のれん	5,981	5,751
その他	6,438	6,085
無形固定資産合計	12,419	11,836
投資その他の資産		
投資有価証券	19,484	13,613
その他	5,815	6,143
貸倒引当金	△38	△37
投資その他の資産合計	25,261	19,719
固定資産合計	69,737	66,378
資産合計	140,487	153,059

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年1月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年10月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,638	19,590
短期借入金	2,461	4,693
未払金	12,963	14,863
未払法人税等	1,182	1,100
賞与引当金	976	1,619
役員賞与引当金	—	29
その他	8,600	6,617
流動負債合計	42,822	48,514
固定負債		
長期借入金	8,298	13,744
退職給付引当金	146	168
役員退職慰労引当金	678	718
その他	9,445	8,178
固定負債合計	18,568	22,809
負債合計	61,390	71,324
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,924	1,924
資本剰余金	1,464	1,464
利益剰余金	73,919	76,002
自己株式	△3	△4
株主資本合計	77,304	79,386
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48	248
繰延ヘッジ損益	0	△19
為替換算調整勘定	17	329
その他の包括利益累計額合計	66	559
少数株主持分	1,726	1,789
純資産合計	79,097	81,735
負債純資産合計	140,487	153,059

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月21日 至 平成24年10月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月21日 至 平成25年10月20日)
売上高	113,428	118,826
売上原価	51,777	54,294
売上総利益	61,651	64,532
販売費及び一般管理費	54,732	59,415
営業利益	6,918	5,116
営業外収益		
受取利息	136	309
有価証券売却益	—	70
受取賃貸料	85	41
持分法による投資利益	25	—
その他	524	371
営業外収益合計	772	792
営業外費用		
支払利息	658	556
有価証券売却損	52	—
持分法による投資損失	—	4
その他	166	206
営業外費用合計	877	766
経常利益	6,813	5,142
特別利益		
関係会社出資金売却益	241	—
特別利益合計	241	—
特別損失		
投資有価証券評価損	179	—
特別損失合計	179	—
税金等調整前四半期純利益	6,875	5,142
法人税等	2,839	1,785
少数株主損益調整前四半期純利益	4,035	3,356
少数株主利益	136	113
四半期純利益	3,898	3,242

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年10月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月21日 至平成25年10月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,035	3,356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48	201
繰延ヘッジ損益	0	△19
為替換算調整勘定	△6	97
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	214
その他の包括利益合計	41	494
四半期包括利益	4,076	3,850
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,939	3,735
少数株主に係る四半期包括利益	137	115

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年1月21日 至平成24年10月20日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (百万円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注) 2
	飲料 販売部門 (百万円)	飲料受託 製造部門 (百万円)	食品製造 販売部門 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	100,814	8,262	4,352	113,428	—	113,428
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	668	30	699	△699	—
計	100,814	8,930	4,383	114,128	△699	113,428
セグメント利益	5,351	1,328	233	6,913	5	6,918

(注) 1. セグメント利益の調整額5百万円には、セグメント間取引消去0百万円、棚卸資産の調整額5百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年1月21日 至平成25年10月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (百万円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注) 2
	飲料 販売部門 (百万円)	飲料受託 製造部門 (百万円)	食品製造 販売部門 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	99,036	7,831	11,958	118,826	—	118,826
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	583	25	609	△609	—
計	99,036	8,414	11,984	119,435	△609	118,826
セグメント利益	3,521	968	632	5,122	△6	5,116

(注) 1. セグメント利益の調整額△6百万円には、セグメント間取引消去0百万円、棚卸資産の調整額△6百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。